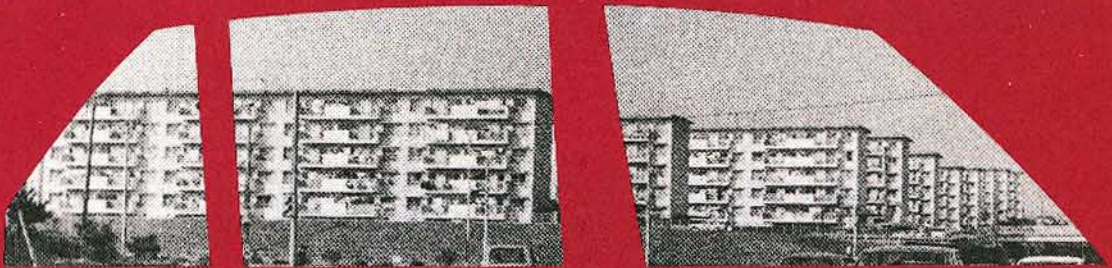


社 団 法 人  
自 動 車 技 術 会

# 中 部 支 部 報



1978

NO. 27

目 次

巻頭言

円高に思う……………神田新市……(1)

説苑・随想

未来予測する事の愉しさ……………梅原半二……(2)

ある考え方の転動……………北野多喜雄……(3)

「八甲田山死の彷徨」に想う……………笈弘……(5)

目的と手段……………飯島喜太郎……(7)

閑話一題……………入谷幸平……(8)

技術開発寸考……………魚住順藏……(9)

シュロスホテル……………森崎延一……(11)

東京生活六年……………片山徳夫……(12)

高い次元……………相木茂男……(14)

呪術と自動車……………大塚新太郎……(15)

あまのじゃく的ゴルフ論—サンデーゴルファーに寄す—……………川合平夫……(18)

早春への招待(過ぎし日のアルバムより)……………鈴木修……(20)

海外事情

マレーシア連邦……………寺田朋行……(27)

MORNING CALMの国……………高屋尚人……(30)

モンゴル人民共和国はウランバートルへ旅して……………川瀬愿……(33)

ヨーロッパ便り(第5報)—ヨーロッパのドライブ旅行から—……………珠玖達良……(38)

技 術

エンジン軸受のキャピテーション……………田中正……(43)

主要各国の電波雑音規制状況……………西尾兼光……(49)

物流技術の断面……………坪川地嘉彦照……(55)

最近の内外気化器の動向	魚 住 順 藏 鈴 木 俊 一	(61)
自動車技術論ノート—変革期における戦略—	加 藤 博 雄 牟 田 典 四 郎	(66)

## 特 集

新春放談会—明日の自動車産業—		(72)
自動車技術講習会—ジェット旅客機の整備方式—	松 尾 芳 郎	(84)

## 特 集

自動車技術会創立30周年記念式典		(93)
特別講演Ⅰ—中部支部30年の思い出 と今後に期待するもの—	北 野 多 喜 雄	(98)
特別講演Ⅱ—技術文明史の中の自動車—	川 添 登	(103)

## 技術研究委員会報告

自動車用セラミック分科会		(112)
点火系研究委員会		(113)

## 会社だより

荒川車体工業株式会社		(114)
川重車体工業株式会社		(116)
愛知県工業指導所		(117)
支部事業報告		(119)
編集後記		(120)

表紙デザイン：神 戸 門 嗣

自動車技術小史：加 藤 博 雄

(54, 71, 83, 92, 102, 111)